

(常磐地区まちづくり検討会)  
第3回ワーキンググループ会議  
(HuLabo③)：情緒ある温泉街づくりWG  
要旨

■ 日 時

令和4年4月～5月

※第3回ワーキンググループ会議については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議開催方法を変更し、メンバーの皆様と個別に意見交換をさせていただきました。

■ 場 所

個別訪問による

■ 意見交換の内容

- ① 温泉街の滞留拠点の形成に向けて  
(整備の方向性、実現への進め方)
- ② 歩きたくなる沿道景観・道路空間の整備に向けて  
(整備のイメージ、検討のエリア、実現への進め方)

■ 主な意見(要旨) ○：関係団体委員

- 温泉神社を中心に地域が盛り上げていくことが重要だと考えています。
- 交通規制の社会実験については、旧国道から右折で温泉街(上町通り)に入る路線も検討できるのではないのでしょうか。
- 社会実験の際には、一番町商店街も一体的に実施していくことが効果的ではないのでしょうか。
- 無電柱化ありきではなく、社会実験を進めながら検討してはどうでしょうか
- 道路整備をする上では、沿道の土地利用が重要ではないかと考えます。(HuLabo②の施策と連携して取り組む)
- 支所の空き地については、道の駅のような店舗があればいいのではないかと考えます。
- 草津温泉のシンボルが湯畑のように、湯本温泉にもシンボルがあってもいいのではないのでしょうか。
- 泊食分離を選択する観光客が増えていますが、飲食をできるお店が少ないと感じます。また、温泉街なのにお土産屋がないことも気になります。
- 夕食後に見て回るお店が少ないと感じます。お祭り広場のような空間があり、常にイベント等が行われていれば観光客も楽しめるのではないのでしょうか。
- 吹谷地区の通りにもお店を並べる工夫を検討していただきたいです。

- 歩行者天国ができるような道路空間を整備できたら面白いのではないかと考えます。また、飲食店でテイクアウトしたものをその場で食べられるように、道路沿いには小さな足湯を点在して配置し、滞留拠点は湯本温泉で湯めぐりした際の中継地点や休憩地点となるように整備できたら楽しめるのではないのでしょうか。
- 道路整備について、隠れご当地マンホールなど、ちょっとした工夫があると話題になると思います。
- 歩きたくなる温泉街という考え方はいいと思いますが、現状は営業しているお店が少ないと感じます。また、無電柱化とすることで自動車もスピードを出しやすくなるため、安全を確保する工夫は必要であると考えます。
- 道路の舗装について、石畳だと車いすの運転に支障が生じるため、ユニバーサルデザインを確保した舗装となるように検討してほしいです。
- 湯本温泉のシンボルがあるといいと思います。
- 地元の人是一方通行は嫌がるのではないのでしょうか。
- 一方通行の社会実験については、すぐに実施すれば、その結果で今後の方針を検討できると思います。
- 舗装は三函エリアの細い路地で実験してみてもいいのではないのでしょうか。